

Monthly Market Focus:

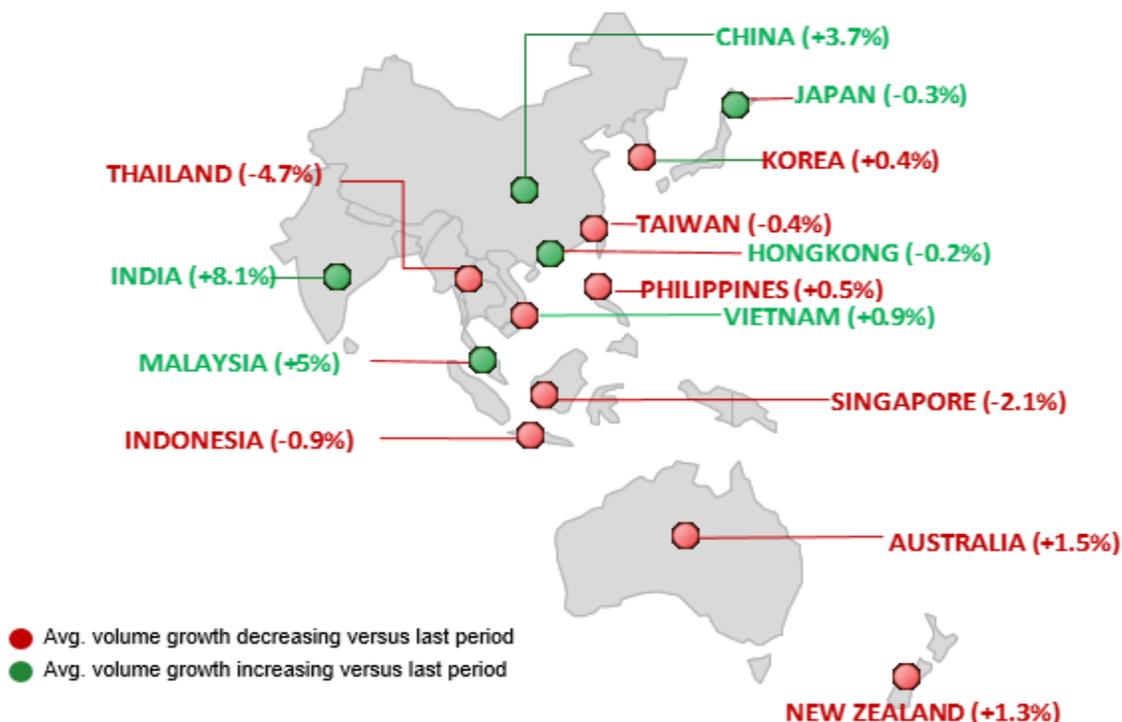
マレーシアの経済回復は日系企業進出の好機に

アジア太平洋地域では2018年第1四半期において市場のダイナミックな変化が見られています。その中でマレーシアや中国市場が良好な動きとなり、日系企業も含めて、ビジネス拡大の可能性が期待できると見えています。

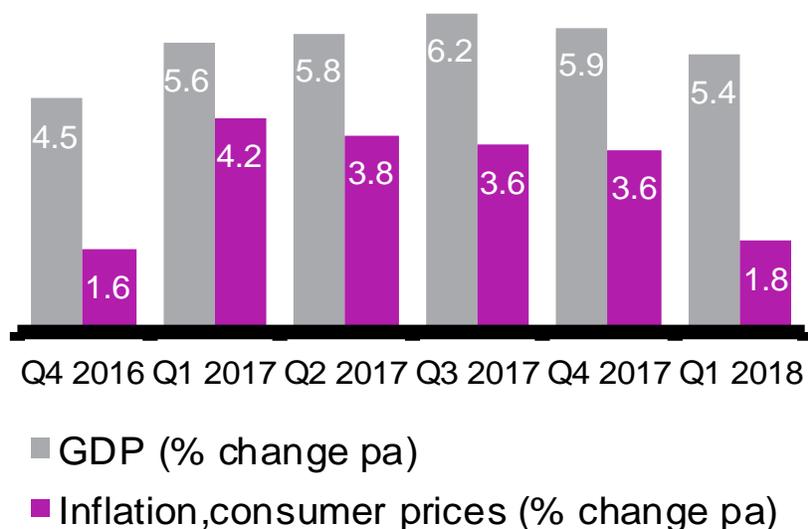
人口の増加、可処分所得の上昇、ライフスタイルの変化の加速に伴い、アジア太平洋地域は世界経済への影響を急速に拡大しています。中でも、特にマレーシアでは経済回復の兆しが見られ、販売量において前四半期と比較して+5%の伸長が記録されています。インド、中国、ベトナムも同様に、成長傾向にあります。

WHERE ARE THE FMCG GROWTH OPPORTUNITIES?

Average volume growth Q4 2017 & Q1 2018



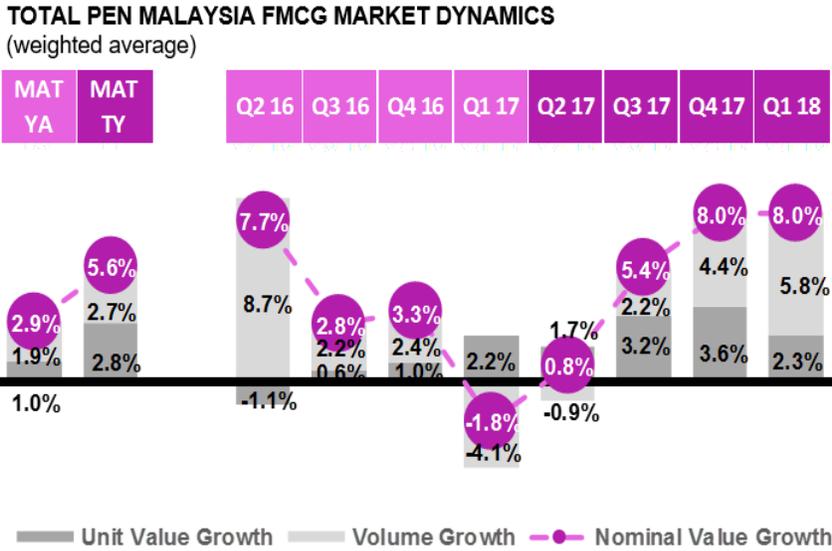
民間消費と輸出に支えられて、マレーシアのGDPの伸長率は、前四半期からわずかな減速で予測値の+5.5%に達していないものの、2018年第1四半期では前年同期比+5.4%と健全な成長を遂げました。世界的な原油価格の上昇とリングットの強化により、2018年第1四半期のインフレ率は前四半期の3.6%から1.8%まで低下しました。



ニールセンが各地域において四半期毎に発行しているレポート「Quarter by Numbers」に基づき、日用品・食品市場における良好なトレンドを見ていくと、2018年2月の旧正月の売上高は、前年同時期の落ち込みと比べて大幅に回復しました。特に飲料、スナック類、菓子類及びパーソナルケア用品は堅調な成長がみられました。中でも飲料と保存食料品、また、販促活動に支えられたスキンケア等のパーソナルケア用品が第1半期において売上を大きく伸ばしました。モダン・トレードでは、ミニマーケットやコンビニエンスストアなどの小規模な売場面積を持つ小売の店舗数が増加し、売上金額が前年同期比+7%と増加しました。また、小売業者が消費者のニッチなパーソナルケア商品に対する需要を見極めることが、美容やヘルスケア用品を扱うドラッグストアの成長要因の一つとなりました。スナック類及び菓子類の二桁成長の背景には、主にビスケットとチョコレートの旧正月における売上増加があります。

2018年6月1日にマレーシアの新政府が6%のGST（消費税とも比べられる商品・サービス税）の廃止を発表し、燃料補助金の復活も提案しました。これらの取り組みは、2018年の後半において消費意欲を活性化させ、日用品や消費財への支出を増加させると期待されています。一部の企業は、消費者に対して商品の6%割引を提供するプロモーション等を通じて、GST廃止前から対応しています。また、5月中旬に始まったラマダンは、以前から日用品メーカーにとって良好な時期です。一部の小売業者は、この期間における売上促進のために、ラマダン関連のカテゴリーと商品に積極的に注力しています。

これらの要素を視野に、2018年第2四半期以降の動きにも注目したいところです。



The FMCG market enjoyed solid growth on the back of a strong economy and positive consumer sentiment.

ニールセン・ジャパンは、グローバル市場におけるビジネス拡大の可能性を認識させることによって日系企業のビジネス支援を目指しています。

アジア太平洋、北米・南米、欧州、中東アフリカ等様々な地域においてFMCGを中心に市場調査を行い、売上動向、購買トレンドや消費者行動に関する情報を提供しています。お客様のターゲット市場の理解を深めるお手伝いをいたしますので、お気軽にお問合せください。

ブサバ チャクリーヤワニ
Busaba Chakreyavanich

お問い合わせ先：

グローバルサービス、ニールセン
japanglobalservices@nielsen.com